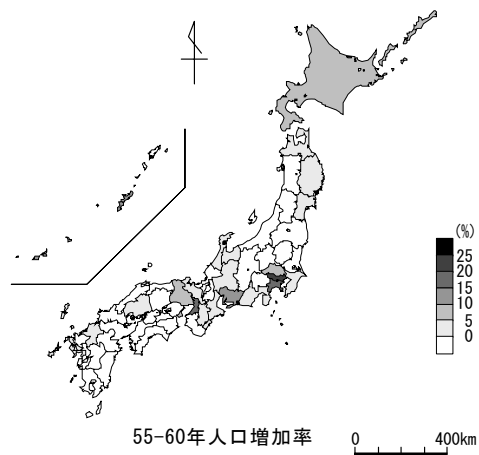
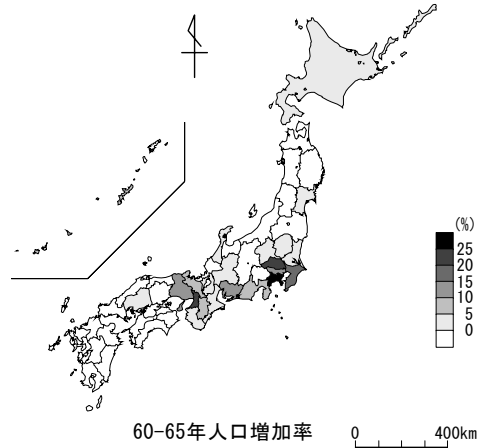


# 国勢調査にみる 都道府県別人口増加率 (1955-2005)

高度経済成長前期：三大都市圏に人口が集中。都市化の段階。  
人口増加率：①東京都20.5%、②大阪府19.2%、③神奈川県17.9%、④愛知県11.6%、  
⑤沖縄県10.5%  
人口減少率：①島根県-4.3%、②鹿児島県-4.0%、③徳島県-3.5%

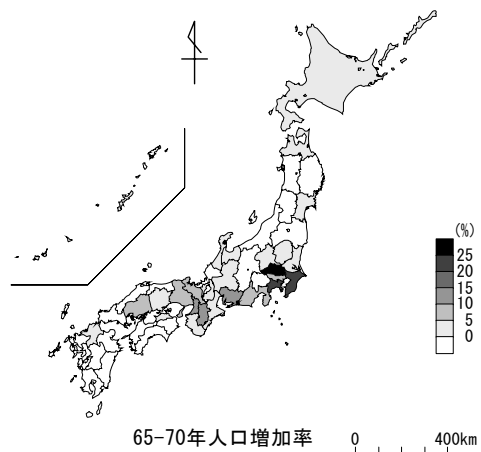


高度経済成長前期:太平洋ベルト地帯で工業化が進展。過密・過疎問題。  
 人口増加率:①神奈川県28.7%,②埼玉県24.0%,③大阪府20.9%,④千葉県17.2%,  
 ⑤愛知県14.1%  
 人口減少率:①島根県-7.6%,②佐賀県-7.5%,③長崎県-6.8%



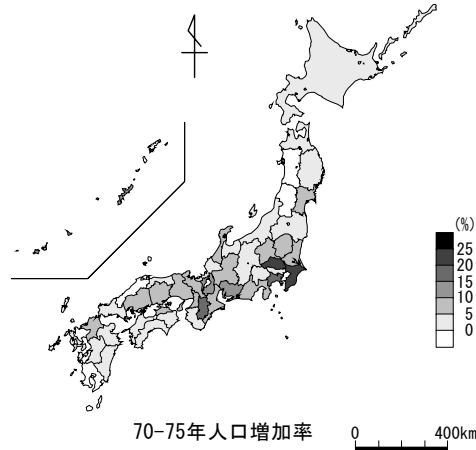
3

高度経済成長後期:大都市圏は郊外化段階。地方で工業化が進展、公害問題多発。  
 人口増加率:①埼玉県28.2%,②千葉県24.6%,③神奈川県23.5%,④大阪府14.5%,  
 ⑤奈良県12.6%  
 人口減少率:①鹿児島県-6.7%,②島根県-5.8%,③長崎県-4.3%



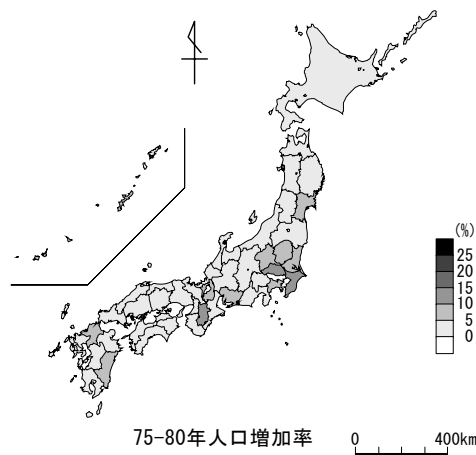
4

石油危機後、大都市経済が停滞。郊外および地方へ人口が分散。  
 人口増加率：①埼玉県24.7%、②千葉県23.2%、③神奈川県16.9%、④奈良県15.8%、  
 ⑤滋賀県10.8%  
 人口減少率：①秋田県-0.7%、②島根県-0.6%、③山形県-0.4%



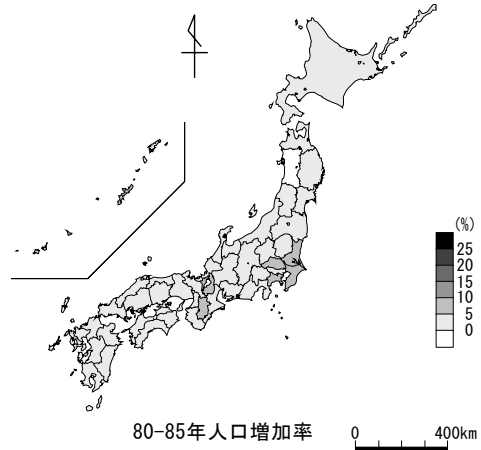
5

石油危機後の調整過程：大都市経済は停滞。開発よりも生活重視へ。  
 人口成長率：①千葉県14.1%、②埼玉県12.4%、③奈良県12.2%、④滋賀県9.6%、⑤  
 茨城県9.5%  
 人口減少率：①東京都-0.5%。東京以外はすべて人口増加。



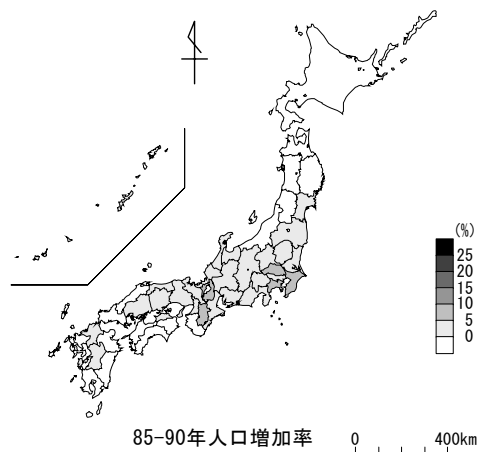
6

工業製品の輸出増で対米貿易黒字。大都市で第一次郊外化が収束へ。  
 人口増加率：①千葉県8.7%、②埼玉県8.2%、③奈良県7.9%、④神奈川県7.3%、⑤滋賀県7.0%。  
 人口減少率：①秋田県-0.2%。秋田以外はすべて人口増加。



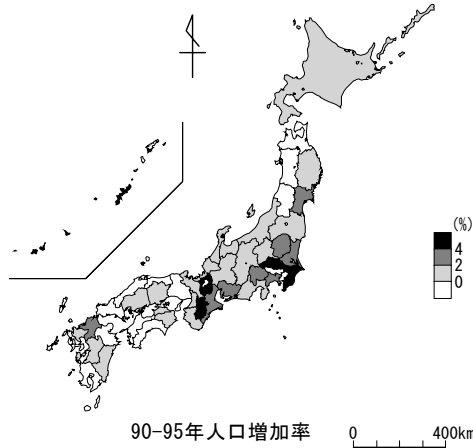
7

東京の「世界都市」化にともなうバブル経済。大都市圏は地価急騰。第二次郊外化。  
 人口増加率：①埼玉県9.2%、②千葉県7.9%、③神奈川県7.4%、④滋賀県5.8%、⑤奈良県5.4%  
 人口減少率：①青森県-2.7%、②秋田県-2.1%、③長崎県-1.9%



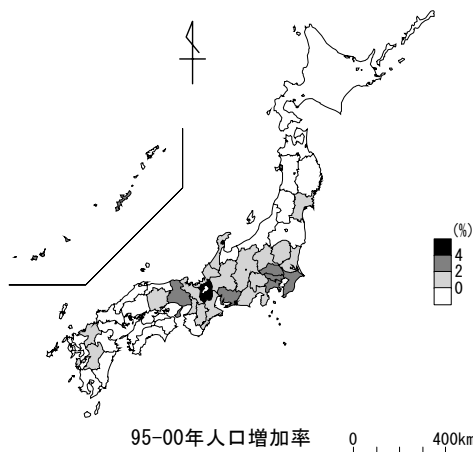
8

バブル経済が崩壊するも、地価は依然として高く郊外化が続く。**尺度注意**  
 人口増加率: ①埼玉県5.5%, ②滋賀県5.3%, ③千葉県4.4%, ④沖縄県4.2%, ⑤奈良県4.0%  
 人口減少率: ①島根県-1.2%, ②長崎県-1.2%, ③秋田県-1.1%, ④山口県-1.1%



9

日本経済は低迷。グローバル情報経済に向けての構造改革へ。都市部では地価の下落とともに、再都市化段階へ。  
 人口増加率: ①滋賀県4.3%, ②沖縄県3.5%, ③神奈川県3.0%, ④兵庫県2.8%, ⑤埼玉県2.6%  
 人口減少率: ①秋田県-2.0%, ②長崎県-1.8%, ③山口県-1.8



10

グローバル情報経済のもとで再都市化が進行。地域格差が拡大。  
人口増加率：①東京都4.2%、②神奈川県3.6%、③沖縄県3.3%、④愛知県3.0%、⑤滋賀県2.8%  
人口減少率：①秋田県-3.7%、②和歌山-3.2%、③青森県-2.6%

